

第4章 下水道ビジョンの基本理念と基本方針

第4章 下水道ビジョンの基本理念と基本方針

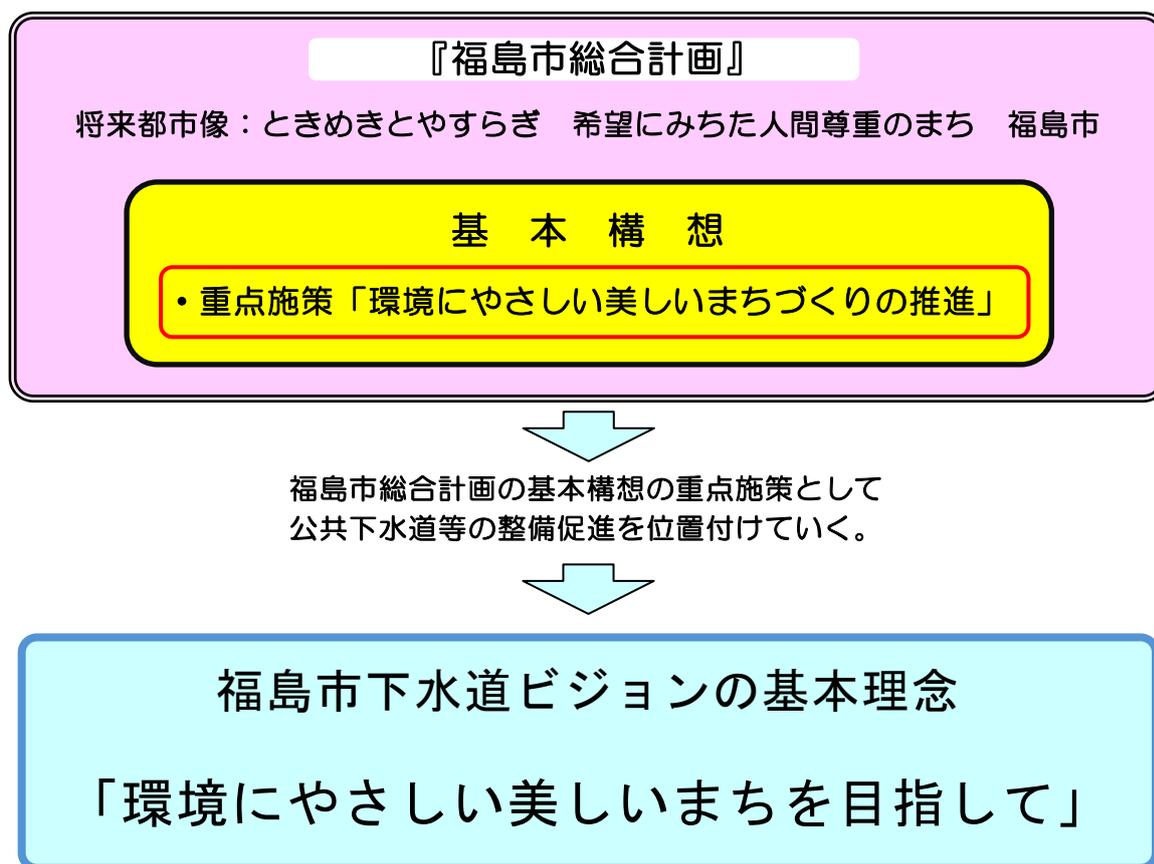
第1節 基本理念

福島市の総合計画（平成22年）では「ときめきとやすらぎ 希望にみちた人間尊重のまち 福島市」を将来都市像とし、『福島市総合計画』の基本構想の重点施策「環境にやさしい美しいまちづくりの推進」を実現するため、公共下水道等の整備促進が位置付けられています。

公共下水道などは、生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除など多面的な役割を有しており、市民生活に欠かすことのできない社会基盤のひとつであります。

『福島市下水道ビジョン』は、それらの役割を担うための下水道等における課題や取り巻く状況を整理した上で、取り組むべき施策を取りまとめ、下水道事業等のあり方や今後の進むべき方向を明らかにするものです。

これらの背景から、福島市下水道ビジョンの基本理念を「環境にやさしい美しいまちを目指して」とします。これは、良好な自然環境や生活環境を保全し、豊かな住みよい環境を次世代に引き継ぐことを表現したものです。



第2節 3つの柱

基本理念を実現するための基本項目として、3つの柱を定めました。柱は、基本理念のもと、具体的な施策を体系化したものです。

これらを改善するため、下水道を取り巻くニーズの変化や、社会情勢の変化に対応し、環境・安全・管理・経営の観点から次に示す、3つの柱をもとに、下水道事業等を推進していきます。

「柱1 美しいまち」「柱2 安全で安心なまち」「柱3 住み続けるまち」を3つの柱とします。また、それぞれの柱には具体的な施策として基本方針を定めます。

柱1 美しいまち（環境負荷低減のまちづくり）

「美しいまち」は、環境負荷低減のまちづくりを推進するものです。

汚水処理施設の普及拡大や、合流式下水道の改善事業による公共用水域の水質保全、下水道資源の有効利用による環境への負荷低減を目指すことを基本方針に定めました。

柱2 安全で安心なまち（防災・減災のまちづくり）

「安全で安心なまち」は、防災・減災のまちづくりを推進するものです。

頻発する大雨などに対応する雨水管理システムの構築、地震に強い下水道システムの構築により災害に強い安全なまちを目指すことを基本方針に定めました。

柱3 住み続けるまち（持続可能なまちづくり）

「住み続けるまち」は、持続可能なまちづくりを推進するものです。

下水道施設の適正な維持管理と長寿命化、効率的な経営手法の導入による下水道経営基盤の強化を行います。

また、わかりやすい情報の提供や市民の下水道に対する理解により、持続的な下水道事業を推進します。

これらの施策により、将来に向け住み続けることができるまちを目指すことを基本方針に定めました。

基本理念 環境にやさしい美しいまちを目指して

3つの柱

基本方針

柱1 美しいまち（環境負荷低減のまちづくり）

柱 1-1 汚水処理の普及拡大

柱 1-2 合流式下水道の改善

柱 1-3 下水道資源の利活用

柱2 安全で安心なまち（防災・減災のまちづくり）

柱 2-1 雨水管理システムの構築

柱 2-2 地震に強い下水道システムの構築

柱3 住み続けるまち（持続可能なまちづくり）

柱 3-1 下水道施設の適正な維持管理と長寿命化

柱 3-2 下水道経営基盤の強化

柱 3-3 市民との協働

用語：雨水管理システム、減災、合流式、長寿命化、防災